

3 年 1 資料名 母の愛する街、私の育った街

出典 [横浜市中学校教育研究会道德研究部会]

主題名 私たちの郷土

ねらい 郷土の発展に尽くした先人の功績を理解し、人々と協力してよりよい郷土づくりに尽くそうとする実践意欲を高める。

道德内容 C－16（郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度）

郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。

主題設定の理由

郷土によって育まれてきた伝統と文化に触れ、体験することを通して、そのよさに気づき、郷土に対する誇りや愛着をもつとともに、郷土に対して主体的に関わろうとする心や態度も育まれる。また、社会に尽くした先人や高齢者などの先達のおかげで、今のこの暮らしを営むことができているのだと認識することにより、尊敬の念や感謝の気持ちを深め、今後は、自分たちの力で、地域に住む人々とともに、地域社会をよりよいものに発展させていこうとする自覚をもつことが必要になってくる。

生徒の実態と指導の方向について

この時期の生徒は、自我の確立を強く意識するあまり、ともすれば自分が自分だけで存在していると考えがちである。地域の人々との人間関係を問い直したり、地域社会の実態を把握させたりして、郷土に対する認識を深め、郷土を愛しその発展に努めるよう指導していく必要がある。問題意識をもち、進んで郷土の発展に努めようとする実践意欲を育てることが求められる。

資料とその取り扱いについて（資料活用上の留意点）

主人公が郷土横浜への母の思いに触れ、郷土を知ろうとする気持ちが高まっていく過程に気づかせ、社会に尽くした先人に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に尽くそうとする実践意欲を高めたい。

関連事項

- 体験活動等の他の教育活動との関連
- 職場体験活動や地域行事などにおける地域の人々との触れ合いの体験を生かした授業展開の工夫。
- 社会科や総合的な学習の時間における横浜の歴史の学習との関連付け。

板書例

学んだこと
自分の町を創り上げた…

「私」の変化
・もつと横浜を知りたい
・横浜の歴史への興味

「母」の横浜
異国情緒豊かで、歴史のある街
⇒
新しくて、おしゃれな街

学習課題
「郷土に誇りをもち、…」
「私の育った街」

テーマ 私たちの郷土
資料 「母の愛する街、私の育った街」

評価の視点

○郷土の発展に尽くした先人の功績を知ることで、郷土に対する誇りや愛着をもつことの大切さに気づき、自分の見方・考え方を広げようとしているか。
○人々と協力してよりよい郷土づくりに尽くそうとすることについて、自分はどうかだったか、どう考えたかなどを振り返り、自らの考えを深めているか。

学習指導過程 例

	学習活動（発問と予想される生徒の反応）	教師の支援
導入	1 「横浜らしい」と思う場所をあげ、その理由について発表し合う。	・横浜や自分の町を振り返る動機付けとする。
展開	【本時の学習課題】 郷土に誇りをもち、大切にするためにはどのような見方や考え方が必要なのだろうか。	
	2 資料を読んで、次のことについて話し合う。 「私」は初め、サークルの先輩にどんな横浜を案内したいと思っていただろう。 ・みなとみらいのような賑やかで新しい横浜。 ・ショッピングができるおしゃれな横浜。 「母親」にとっての横浜はどんな街なのだろう。 ・大学時代を過ごした懐かしい横浜山手。 ・洋館が多く、歴史を感じさせる異国情緒漂う街。 「いつの間にか私の方がこの散策に夢中になっていた」のはなぜだろう。 ・母の思いが伝わり、もっと横浜を知りたくなったから。 ・横浜の歴史に興味がわいてきたから。	・教師が範読する。 ・中学生の自分たちも横浜と言えば同じようなイメージであることに共感させる。 ・学生時代を懐かしみながら大好きな横浜の雰囲気や娘に伝えたがっている母の気持ちに気づかせたい。
	開 3 今の自分を振り返り、次のことについて話し合う。 資料を通して学んだことに照らして、今の自分はどうかだろうか。	・いつの間にか母の思いに寄り添い、自分の育った街に思いを寄せているところに注目させたい。
終末	4 横浜の名所の画像等を見る。	・郷土を愛する気持ちを持ち、先人に感謝するとどんなよいことがあるだろう。 ・市民の一員であることの自覚を高め、実践の意欲付けとしたい。 ・余韻をもって終わるようにする。

3年 2 資料名 その笑顔があれば

出典 [横浜市立中学校教育研究会道德教育部会]

主題名 人間の気高さ

ねらい 人間としての誇りや深い人間愛を育み、人間として生きること
に喜びを見いだそうとする態度を養う。

道德内容 D-22 (よりよく生きる喜び)

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心がある
ことを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。

主題設定の理由

道德内容について

誰もが良心によって悩み、苦しみ、良心の責めと戦いながら、呵責に耐えきれ
ない自分の存在を深く意識するようになる。こうした苦しみに打ち勝って、自分
に誇りをもつことができたとき、人間として生きる喜びに気づくことができる。

生徒の実態と指導の方向について

この時期の生徒は、人間が内に弱さや醜さをもつとともに、強さや気高さを併
せてもっていることも理解できるようになる。しかし、自分に自信をもてず、劣
等感にさいなまれたり、人をねたみ、恨み、うらやましいと思ったりすることも
ある。そこで、自分の弱さや醜さを気高さに変えられるという確かな自信をもち
自己肯定でき、よりよく生きる喜びを見いだそうとする態度を養いたい。

資料とその取り扱いについて (資料活用上の留意点)

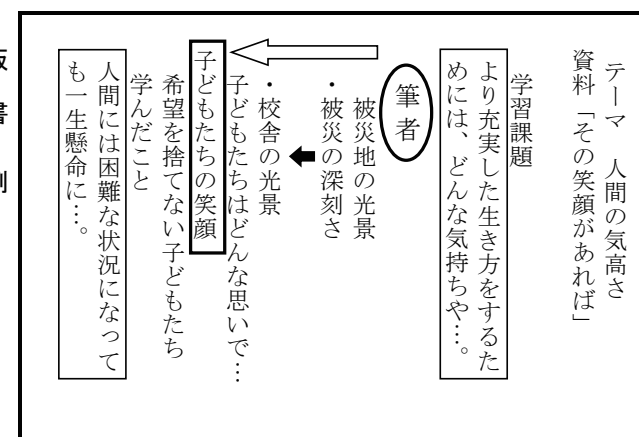
被災者という立場ながら、懸命に生きる子どもたちの行動から、人間のもつ崇
高な精神と人間の気高さを感じ取らせ、人間として誇りをもって生きていこうと
することの大切さに気付かせたい。

関連事項

体験活動等の他の教育活動との関連

・職場体験活動や福祉体験活動などの体験で気付いた「人間としての誇り」を
生かした授業展開の工夫。

板書例



評価の視点

- 凄まじい被災地で生活していく人たちの思いや考えに触れ、多面的・多角的な見方へと広げ、自らの考えを深めているか。
- 復興への困難な状況でも笑顔を支わない子どもたちの姿について自分事としてとらえることで、自らの生活や考え方を振り返ることができたか。

学習指導過程 例

	学習活動（発問と予想される生徒の反応）	教師の支援
導入	1 「自分は弱い人間だなあ」と思った経験について発表しあう。	・学習への関心を高め、学習課題につなげる。
展開	【本時の学習課題】自分の弱さや醜さを乗り越えて、より充実した生き方をするためには、今の自分はどのような見方・考え方をもつことが大切なのだろうか。	
	2 資料を読んで、次のことについて話し合う。 初めて被災地の様子を見たとき、筆者はどのような思いをもったのだろうか？ ・生活する人々はどうなってしまったのだろうか？ ・言葉が出ない。	・教師が範読する。 ・実感をもてなかった被災地の様子に気付いていく筆者の変化に気付かせる。 ・どんなときにも笑顔を失わない子どもたちの姿を通して、人間の気高さに思いをよせる筆者の心情に気付かせる。 ・困難な状況でも、希望をもって生活している子どもたちの姿に、思いを変化させていく筆者の心情をとらえさせる。
	筆者は、彼女の表情が輝いて見えた時、その表情から何を読み取ったのだろうか？ ・希望 ・人間の気高さ	
	「彼らがいればきっと大丈夫だ」という言葉についてどう思うか？ ・復興への希望を感じる。 ・そんなに簡単ではないと思う。	
閉	【資料を通して学んだこと】人は、弱さ・醜さを誰でももっているが、それを乗り越える強さ・気高さが備わっていることを自覚し、人として誇りをもって生きていこうとすることが大切である。	
終末	3 今の自分を振り返り、次のことについて話し合う。 資料を通して学んだことに照らして、今の自分はどうか。	・把握した価値をしっかりと確認し、時間を十分にとってじっくりと振り返らせる。
	4 「人間として生きる喜び」について、教師の説話を聞く。	・余韻を残すような説話を聞き、実践への意欲を高めていきたい。

3 年 3 資料名 天ぷらそば
出典 [内海 隆一郎 著 「『PHP』昭和63年5月号PHP研究所」]
主題名 「寛容の心」

ねらい それぞれの立場や個性を尊重し、寛容の心をもち謙虚に他から学ぼうとする心情を養う。

道徳内容 B－9（相互理解、寛容）
自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

主題設定の理由
道徳内容について
個性は自分自身だけで伸びるものではなく他に認められながら伸びるものである。お互いの異なる個性を見つけ、違うものを違うと認め、ときには相手を受け入れ許す寛容の心、偏ったものの見方や考え方のない広い心を育てることが大切である。
生徒の実態について
この時期の生徒は、ものの見方や考え方に違いが現れてくるとともに個性がはっきりしてくる。そのため、自分の考えや立場に固執したりする傾向が強くなり、友人間に意見の対立や摩擦が生じたり、過剰な同調がみられたりする。
資料とその取り扱いについて（資料活用上の留意点）
そばやのご主人の亡くなられた先代（父親）と物忘れがひどくなり支払いを忘れている客の老紳士の言動をだぶらせながら、「みんな・・・おたがいさまなんだよ。」というそばやのご主人の言葉の奥にある心情から、それぞれの立場を理解し、広い寛容の心で相手を素直に受け入れようとする心情を育てたい。

関連事項
体験活動等の他の教育活動との関連
・ 体育祭や文化祭などの学校行事に関する学級での話し合い活動において、自分と異なる見方や考え方が出され、その対応で困ったときのことを導入で想起させ、それを踏まえての学習課題の設定や、展開及び終末の工夫をする。
私たちの道徳との関連 関連ページ P 72～81
「人それぞれに異なるものの見方・考え方がある」を導入で使い学習課題に繋げたり、終末で「他の人の立場や考えを理解していない自分に気付いた経験がありますか」を読んで余韻をもって終わるやり方が考えられる。

板書例
学んだこと 自分だけの意見にこだわるのではなく、相手の立場やいろいろなものの見方…
みんな…おたがいさま
相手の立場などを理解し、広い心で受け止めていこう
胸の奥に秘めた波・鼻の奥の痛み
岩崎さんの先代と同じ境遇の老紳士へよせる苦い思い出
自分が岩崎さんだったら
↓ 問い詰める・様子を見る
学習課題 人それぞれ異なるものの見方・考え方があるが…
資料 天ぷらそば
テーマ 寛容の心

評価の観点
○ それぞれの個性や立場を理解し、寛容の心で相手を素直に受け入れようとする気持ちが育ったか。

学習指導過程 例

	学習活動（発問と予想される生徒の反応）	教師の支援
導入	1 自分と異なるものの見方や考え方と出会ったとき、あなたならどうしますか。	・「私たちの道徳」のP73を活用し、学習課題につなげるようにする。
展開	2 資料を読んで、次のことについて話し合う。 <div>あなたが、この店のご主人（岩崎さん）だったら、再び訪れた老紳士に対して、どんな行動をとりますか。</div> <div>・ すぐに三週間前のことを問い詰める。 ・ 少し様子を見て、精算のときに確認する。</div> <div>岩崎さんの胸の奥に寄せてきた波、そして、岩崎さんの鼻の奥にかすかに走った痛みの意味するものは何だろうか。</div> <div>・ 岩崎さんの先代（父親）の苦い思い出のこと。 ・ 岩崎さんの父親と同じ境遇の老紳士を思う老夫人の抱えている辛さ。</div> <div>岩崎さんの深いため息をついてから、ぽつんと言った「みんな、・・・おたがいさまなんだよ。」という言葉の奥にひめられている思いとは何だろう。</div> <div>・ 悪気があるわけでないこの老紳士の状況を広い心で受け止め、困っているときは、「おたがいさま」という気持ちをもつことが大切である。 ・ 相手の立場などを理解し、それを広い心で受け止めて自分の中に受け入れていこうとする気持ちをもつことが大切である。</div>	・ 教師が範読する。 ・ 自分と岩崎さんを自己投影させて、自分事として考えさせる。 ・ 岩崎さんの先代（父親）も同じようなことがあり、おふくろさんが、あちこちに謝りにいっていたことが思い出され、とても攻められるものではないなという思いが込み上げてきたことを感じとらせたい。 ・ 相手の置かれている状況を少しでも理解し、広い心で受け止めていこうとする岩崎さんの気持ちに共感させる。
開	【資料を通して学んだこと】自分だけの意見にこだわるのではなく、相手の立場やいろいろなものの見方や考え方からも謙虚に学び、広い寛容の心で相手を受け入れようとする気持ちをもつことが大切である。	
	3 今の自分を振り返り、次のことについて話し合う。 <div>資料を通して学んだことに照らして、今の自分はどうかだろうか。</div>	・ 把握した価値をしっかりと確認し、時間を十分に確保し、じっくり振り返らせる。
終末	4 「私たちの道徳」P 74を教師が心を込めて読む。	・ 余韻を残して終わるように範読中はBGMを流す。

3年 4 資料名 「手紙～拝啓十五の君へ～」に込められた思い
出典 [横浜国立中学校教育研究会道德研究部会]
主題名 充実した生き方

ねらい 個性を伸ばして、より充実した生き方を追求しようとする
心情を育てる。

道德内容 A－3（向上心、個性の伸長）
自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

主題設定の理由	道德内容について 一人ひとりの人間は姿や形が違いうように、人それぞれには必ずその人固有のよさがある。その個性を生かし伸ばしていくことは、生涯をかけての課題である。短所も自分の特徴の一側面であることを踏まえつつ、かけがえのない自己を肯定的に捉え（自己受容）させるとともに、自己の優れている面などの発見に努め（自己理解）させることが必要である。自分のよさは自分ではわからないことが多いので、生徒相互の信頼関係を基盤として互いに指摘し合い、高め合う人間関係を作っていくことが大切である。
	生徒の実態と指導の方向について この時期の生徒は、自己理解が深まり、自分なりの在り方や生き方に関心が高まってくる一方、自分の姿を自らの基準に照らし合わせて考えたり、他人との比較においてとらえたりするために、自信をもつことが難しく、一人思い悩むことも少なくない。そこで優れた古典や先人の生き方との出会いを広げる中で、充実した人間としての生き方についての自覚を深め、より充実した生き方を追求しようとする心情を育てたい。

資料とその取り扱いについて（資料活用上の留意点）
合唱曲として有名なこの詩の「自分を信じて進む」というメッセージと作者の思いに触れ、自分らしく充実した生き方を求めようとする心情を育てたい。

関連事項	体験活動等の他の教育活動との関連 ・体育大会や文化祭などの体験で気付いた「個性」「充実した生き方」を生かした授業展開の工夫。 ・学級活動「学業と進路」の学習との関連付けを図る。
------	--

板書例	学んだこと 自分のよさに自信をもち、… それを伸ばして…	テーマ 充実した生き方 資料「手紙～拝啓十五の君へ～」 に込められた思い 学習課題 自分の個性を生かし、より 充実した生き方をするために… 印象に残った言葉 ・自分の声を信じ歩けばいいの。 ・あなたの夢を育てて。 アンジェラさんの思い ・悩まないで自分を信じて。 ・大丈夫だから、夢に向かって頑張っ
-----	------------------------------------	--

評価の視点
○ 自分の特徴を理解して、個性を伸ばしていくために必要な見方・考え方に気付き、自分の見方・考え方を広げ、深めているか。
○ より充実した生き方を追求するために、学習したことを基に、自分はどうか、どう考えるかなどを振り返り、考えを深めているか。

学習指導過程 例

	学習活動（発問と予想される生徒の反応）	教師の支援
導入	1 自分の個性について振り返る。	・ペアトークでお互いの長所に気づかせる。
展開	【本時の学習課題】 自分の個性を生かし、より充実した生き方をするためには、どんな気持ちや考えをもつことが大切だろうか。	
	2 資料を読んで、次のことについて話し合う。 この詩を読んで、感動したり共感したりしたのはどの部分か。また印象深い言葉は何か。 ・自分の声を信じ歩けばいいの。 ・あなたの夢を育てて。 ・今を生きていこう。 自分なら大人になった自分に対してどんな手紙を書くか考えてみる。 ・今の不安や悩みを相談したい。 ・どんな人生を送っているか、夢が叶っているか聞きたい。 アンジェラさんは15歳の自分に何を伝えたかったのだろう。 ・悩まないで、自分を信じて。 ・大丈夫だから、夢に向かって頑張っ	・教師が範読する。 ・理由も含めて、素直な気持ちを発表させる。 ・他の人の気持ちにも寄り添うようにさせたい。 ・一生懸命生きることのすばらしさに共感させたい。 ・自分を信じて努力を続けて充実した生活をしてほしいという作者のエールを感じ取らせたい。
	【資料を通して学んだこと】 自分固有のよさを認め、それをより一層伸ばして充実した生き方を追求しようとする気持ちをもつこと。	
開	3 今の自分を振り返り、次のことについて話し合う。 資料を通して学んだことに照らして、今の自分はどうか。	・自分のよさに自信をもって進むとどんな良いことがあるだろう。 ◎夢に近づける。 ◎毎日が充実する。
	4 合唱曲「手紙」を聞く。	・じっくり聞き余韻をもって終わる。